

2020年10月7日

報道関係者各位

SBI 日本少額短期保険株式会社
〒530-0011 大阪市北区大深町 3-1
グランフロント大阪 タワーB 13FSBI インシュアランスグループ
シリーズアンケート④**コロナ禍における自転車利用の変化について調査を実施**

～約3割がコロナ禍によって自転車に乗る機会が増えたと回答 主な理由は「運動不足解消のため」～

SBI インシュアランスグループの事業会社6社は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う行動様式・生活の変化を調査するため、各事業会社の特性に合わせたアンケート調査を実施いたしました。

SBI 日本少額短期保険株式会社（本社：大阪市北区、代表取締役社長：井上 久也）では、新型コロナウイルス感染症と自転車利用の変化に関するアンケート調査を行いましたので、その結果について以下のとおりお知らせします。

調査結果のサマリー**約3割が、新型コロナウイルスの影響によって自転車に乗る機会が増えたと回答。主な理由は「運動不足解消のため」**

新型コロナウイルスの影響による自転車利用の変化について聞いたところ、「増えた」「どちらかといえば増えた」と回答した方は全体の29.2%となり、利用が減ったと回答した方の19.7%を大幅に上回りました。

また、利用が増えた方へ主な理由を聞いたところ「運動不足解消のため」が最も多く、次いで「満員電車の密を避けるため」、「在宅の時間が増え、近所で用事を済ませるようになったため」となり、自転車に乗る機会が増えた方の多くが、人混みなどの密を避けるためだけでなく、在宅等による運動不足を解消するために自転車を活用していることがわかりました。

新型コロナウイルスの影響によって自転車通勤・通学は33%相当が増加

自転車の利用用途について聞いたところ、31.4%の方が「通勤・通学」と回答し、「買い物・通院など近所の移動」（77.1%）に次いで2番目に多い結果となりました。また自転車利用の増減別でみると、「通勤・通学」と回答した方のうち約4分の1が新型コロナウイルスの影響によって自転車通勤・通学を始めたと回答しており、もともと自転車通勤・通学を行っていた方と比較すると、約33%相当の方が新型コロナウイルスの影響を受けて自転車通勤・通学を始めたことがわかりました。

事故の危険を感じたことがある方は62.8%、そのうち事故対策実施率は8割以上

事故の危険について聞いたところ、全体の62.8%の方が自転車乗車中に事故の危険を感じたことがあると回答しました。そのうち車やバイクにひかれるなどの「事故の被害に遭いそうだと感じたことがある」方は73%、歩行者や

物にぶつかってしまうなどの「事故を起こしそうだと感じたことがある」方は62.2%と、歩行者や物との接触よりも車やバイクとの接触到に危険を感じる機会が多いことがわかりました。

また、事故の危険を感じたことがある方の事故対策実施率は82.8%となり、事故の危険を感じたことがない方の対策実施率(61.7%)に比べて多くの方が事故の対策を行っていました。最も実施されている対策は「交差点では安全確認を行っている」、次いで「暗くなり始めたら早めにライトをつけている」、3番目に「保険に加入している」となりました。特に交差点の安全確認は、事故の危険を感じたことがある方(56.8%)とない方(32.7%)で最も実施率に開きがあり、事故の危険を感じたことがある人ほど、交差点での安全確認を行う確率が高いことがわかりました。

●調査概要

タイトル	コロナ禍における自転車利用の変化に関するアンケート調査
調査期間	2020年9月7日～2020年9月15日
調査方法	インターネットリサーチ
調査対象	全国20歳～69歳の自転車利用者
有効回答数	1,037名

※本調査結果の百分率表示は、少数点第2位で四捨五入を行っているため、合計しても100%にならない場合があります。

また、複数選択可の設問で得られた回答は、選択肢の合計が100%を超える場合があります。

本件に関するお問い合わせ

SBI 日本少額短期保険株式会社 経営企画部 広報室 小柳・植松

Phone: 03-6229-0711 e-mail: PR-nssi@n-ssi.co.jp

◆SBI 日本少額短期保険株式会社 (SBI 日本少短) について

SBI 日本少額短期保険株式会社は、「保険をもっと身近に」「保険をもっと手軽に」「保険をもっと便利に」という企業理念のもと、最新のテクノロジーを活用していくことで、お客様にご満足いただける良質なサービスを常に提供できる少額短期保険業者を目指します。

【会社概要】

商号	SBI 日本少額短期保険株式会社
所在地	大阪本社：大阪府大阪市北区大深町 3-1 グランフロント大阪 タワーB 13F 東京本社：東京都港区六本木 1-6-1 泉ガーデンタワー 16F
設立	1996年6月28日
資本の額	1億9,000万円
事業内容	少額短期保険業
URL	https://www.n-ssi.co.jp/

◆SBI インシュアランスグループについて

SBI インシュアランスグループは、日本のインターネット金融のパイオニアである SBI グループの保険事業を担う企業グループです。保険持株会社である SBI インシュアランスグループ株式会社のもと、SBI 日本少短を含む事業会社7社が一体となって総合的な保険事業を展開しています。

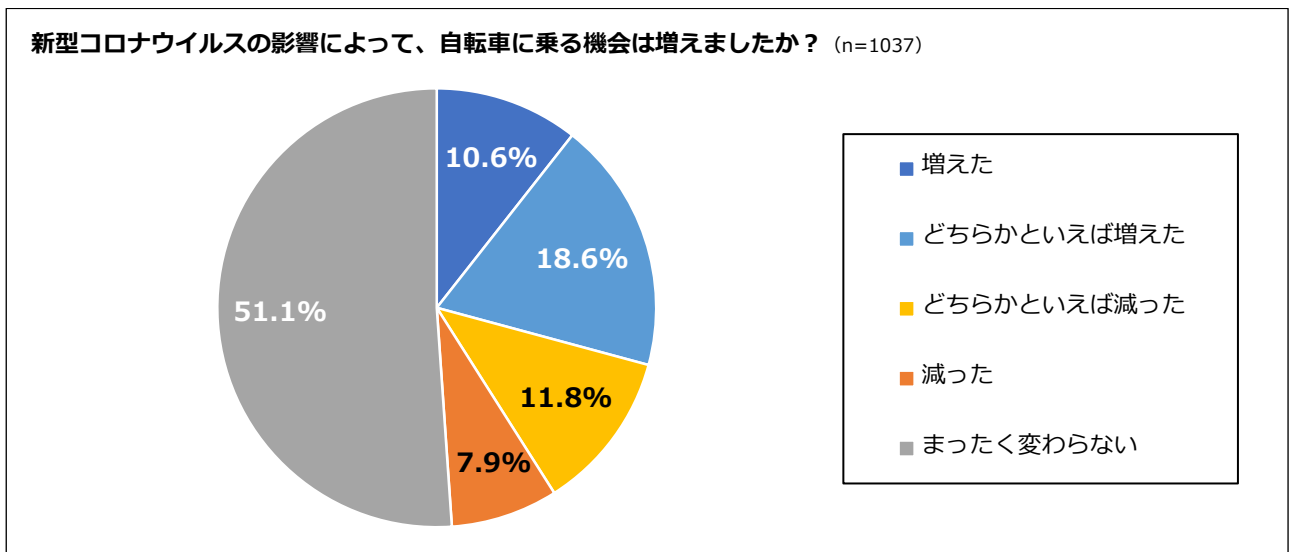
「顧客中心主義」の徹底という基本方針のもと、保険分野における様々な付加価値を創造し、さらなる顧客基盤の拡大を続けることで企業価値の向上に努めます。

(参考資料)

◆ コロナ禍における自転車利用の変化に関するアンケート調査結果の詳細

(1) 新型コロナウイルスの影響による自転車利用の変化

自転車利用の変化に関する質問では、「まったく変わらない」という回答が最も多く、「増えた」「どちらかといえば増えた」といえば増えたの増加回答が全体の29.2%となり、「減った」「どちらかといえば減った」の減少回答(19.7%)よりも多い結果となりました。

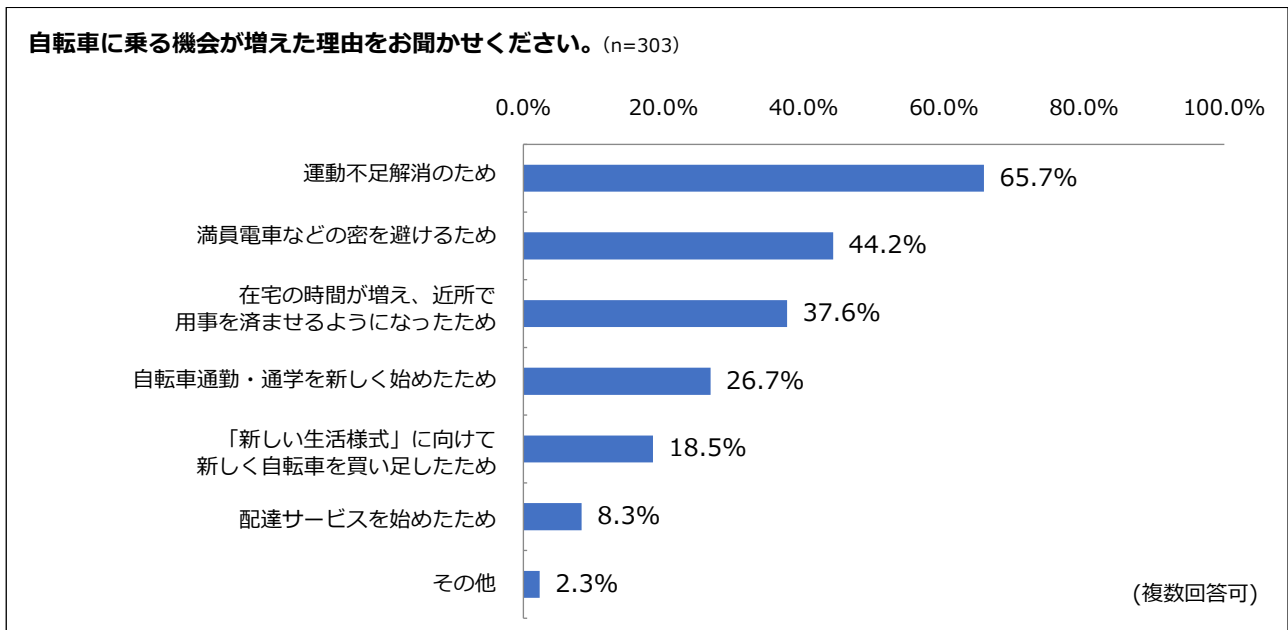


また回答を年代別に見た場合、20代～30代の自転車利用が増加する傾向にあり、40代～60代から「まったく変わらない」が半数を超え、60代では減少回答が大幅に増加しました。年齢を重ねるほど自転車の利用を抑えている方が多いことがわかります。

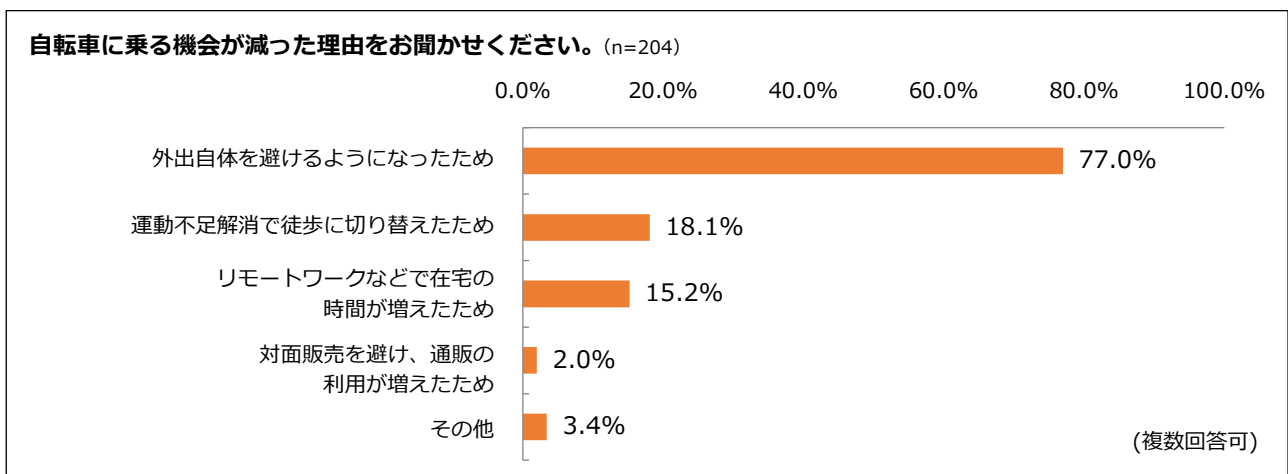
新型コロナウイルスの影響によって、自転車に乗る機会は増えましたか？ (年代別) (n=1037)

年代	人数	増えた	どちらかといえば増えた	どちらかといえば減った	減った	まったく変わらない
全体(n)	1037	10.6%	18.6%	11.8%	7.9%	51.1%
20歳～29歳	157	13.4%	27.4%	12.7%	7.6%	38.9%
30歳～39歳	211	14.2%	28.0%	10.0%	6.2%	41.7%
40歳～49歳	223	9.4%	15.2%	11.7%	7.2%	56.5%
50歳～59歳	223	10.3%	10.8%	11.2%	6.3%	61.4%
60歳以上	223	6.7%	14.8%	13.5%	12.1%	52.9%

自転車の利用が増えた方へその理由を伺ったところ、「運動不足解消のため」という回答が 65.7%となり、「満員電車などの密を避けるため」(44.2%) を超えて最も多い回答となりました。また、「新しい生活様式に向けて自転車を買い足したため」という回答のうち 8 割が「運動不足解消のため」を同時に回答しており、外出自粛などの運動不足を解消する目的で自転車の利用が増え、新しく自転車を購入している方もいることがわかりました。

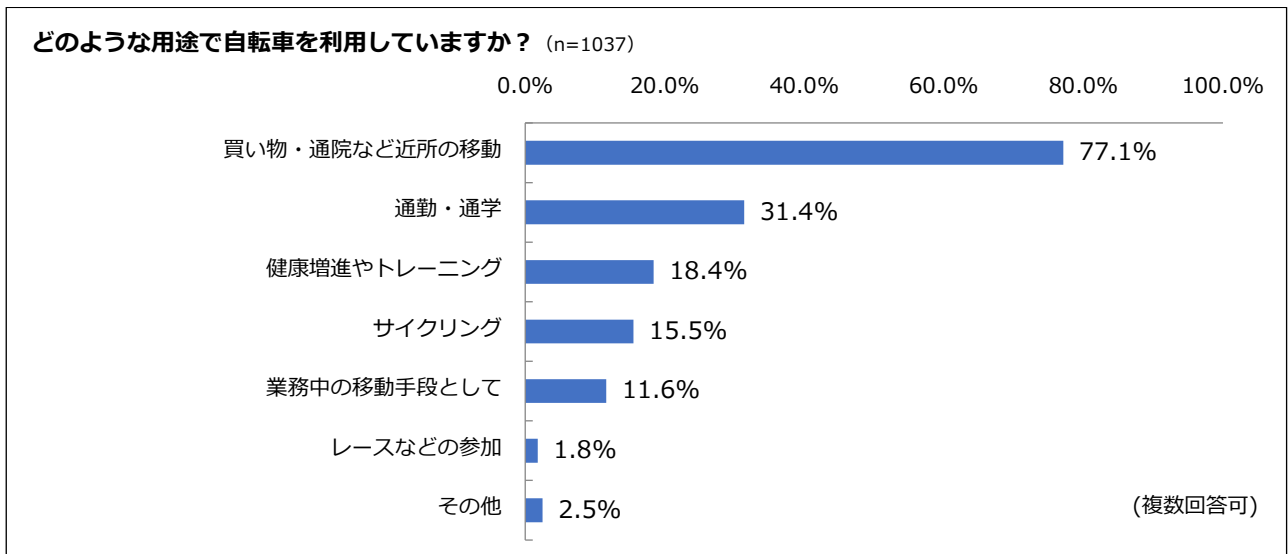


また、自転車の利用が減った方へも理由を伺ったところ、「外出自体を避けるようになったため」という理由が 77%と理由の大半を占めました。



(2)自転車の用途

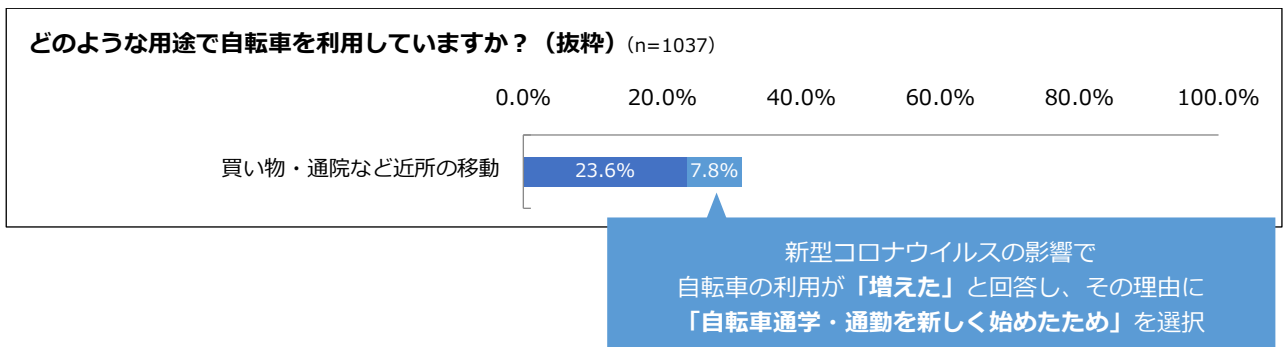
自転車の用途に関する質問では、「買い物・通院など近所の移動」が全体の77.1%を占めました。この回答は単独での回答（同時に他の用途を選択しなかった）率が最も高く、近所の移動にのみ自転車を利用している方は全体の4割を超えていました。



・その他

子どもの送迎 ゴミ出し ちょっとしたお出かけ など

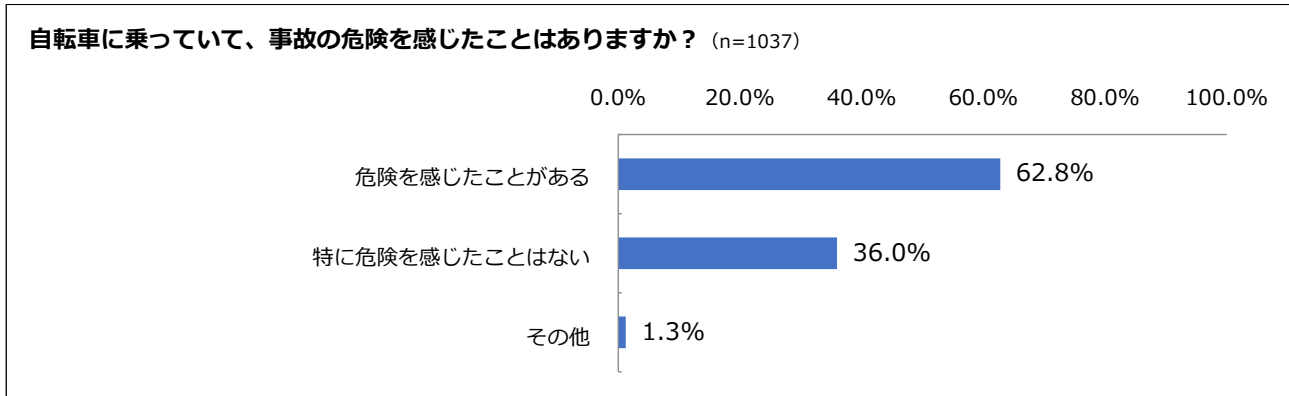
また、「通勤・通学」に自転車を使用している方は全体の31.4%と2番目に多い結果となり、そのうち約4分の1の方が、新型コロナウイルスの影響で自転車通学・通勤を始めて自転車の利用が増えたと回答していました。



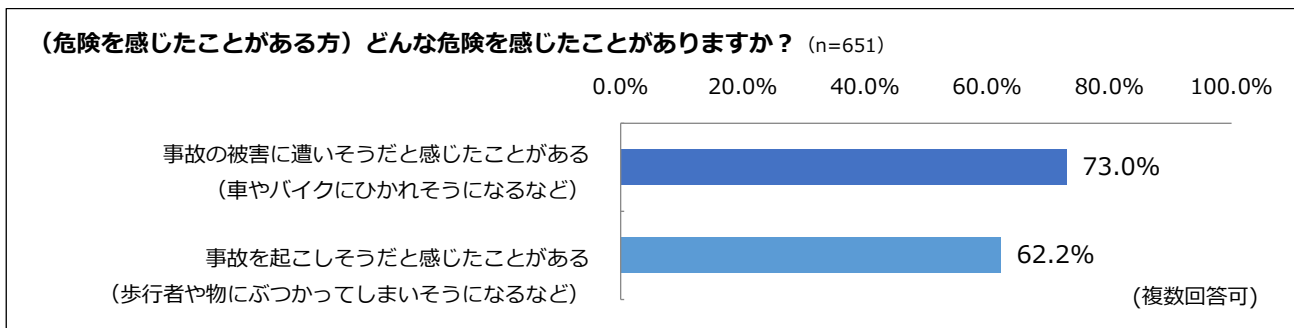
もともと自転車通学・通勤を行っていた方（「自転車通学・通勤を新しく始めたため」を選択しなかった方）の数と比較すると、約33%相当の人が新型コロナウイルスの影響で新しく自転車通勤・通学を始めたことがわかります。

(3)事故の危険とその対策

自転車乗車中の危険に関する質問では、「危険を感じたことがある」という回答が6割を超え、半数以上の方が自転車乗車中に事故に遭いそうな危険を感じたことがあるとわかりました。



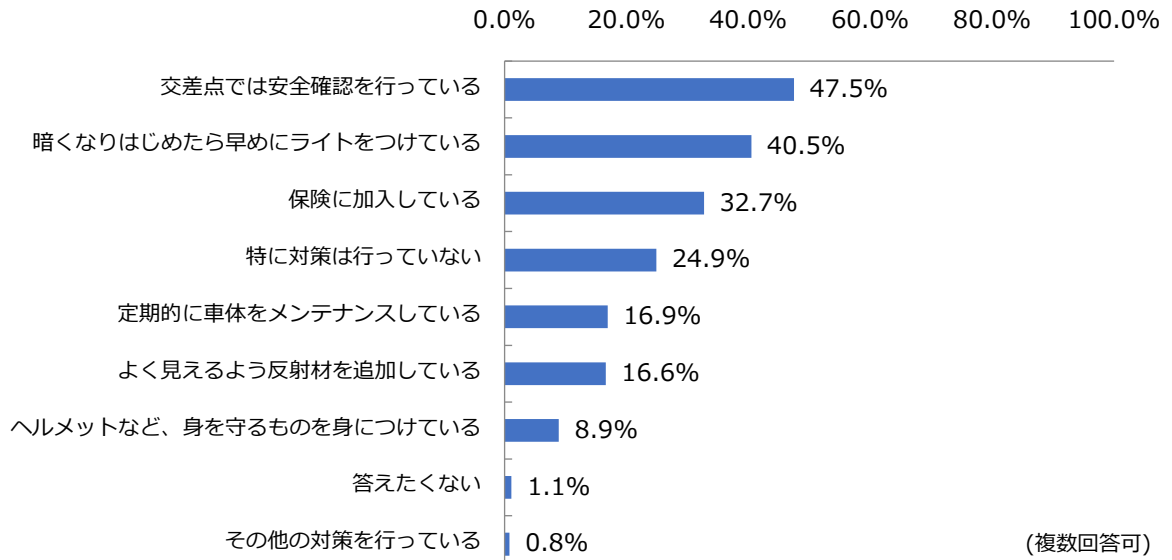
感じた危険の種類別では、歩行者や物にぶつかる危険(62.2%)よりも、車やバイクなど車両との接触に関する危険(73.0%)を感じるという回答が多い結果となりました。



また、自転車に乗る際の事故対策について伺ったところ、「交差点では安全確認を行っている」(47.5%) 「暗くなり始めたら早めにライトをつけている」(40.5%) 「保険に加入している」(32.7%)がそれぞれ3割を超える結果となりました。

最も実施率の高い対策だった「交差点では安全確認を行っている」は、事故の危険を感じたことがあるかどうかで実施率に大きく差があり、危険を感じたことがある方は56.8%、感じたことがない方は32.7%と20ポイント以上開きました。過去に危険を感じたことがある方ほど、交差点通過時に確認を行う可能性が高いことがわかります。

自転車に乗る際、事故に備えてどんな対策を行っていますか？ (n=1037)

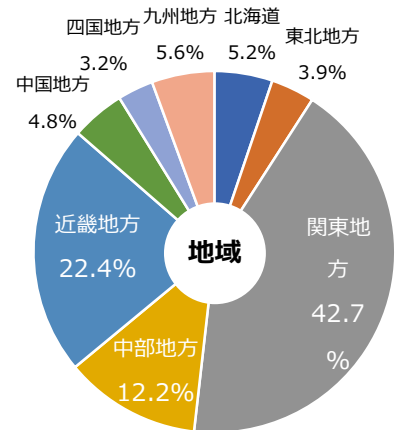
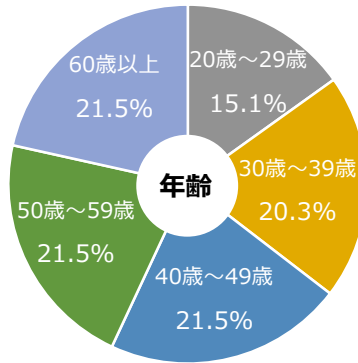
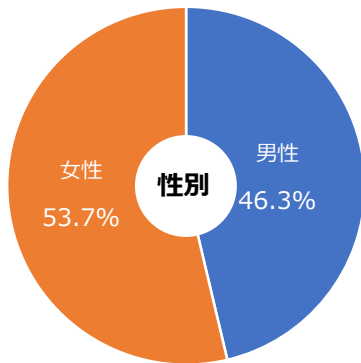


・その他の対策

ゆっくり走行し、スピードを出さない 常時ライトがつくシステムを使っている など

		自転車に乗る際、事故に備えてどんな対策を行っていますか？									
		n	交差点では安全確認を行っている	暗くなりはじめたら早めにライトをつけている	保険に加入している	特に対策は行っていない	定期的に車体をメンテナンスしている	よく見えるよう反射材を追加している	ヘルメットなど、身を守るものを身につけている	答えたくない	その他の対策を行っている
全体		1037	47.5%	40.5%	32.7%	24.9%	16.9%	16.6%	8.9%	1.1%	0.8%
自転車に乗っていて、事故の危険を感じたことはありますか？	危険を感じたことがある	651	56.8%	46.2%	37.8%	17.2%	20.4%	21.5%	12.1%	0.3%	0.8%
	特に危険を感じたことはない	373	32.7%	31.6%	24.4%	38.3%	11.3%	8.3%	3.5%	0.5%	0.8%
	答えたくない	13	0.3%	0.3%	0.5%	0.8%	0.0%	0.3%	0.0%	1.9%	0.0%

■ アンケート回答者属性



※本調査結果の百分率表示は小数点第2位で四捨五入を行っているため、合計が100%にならない場合があります。また、複数選択可の設問で得られた回答は、選択肢の合計が100%を超える場合があります。